

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和2年7月17日
大阪管区気象台

令和2年7月5日から14日にかけての梅雨前線による 大雨に関する近畿地方、中国地方、四国地方の気象速報

令和2年7月5日から14日にかけての梅雨前線による大雨について、
気象状況を気象速報としてまとめました。

【気象の概要等】

西日本に停滞していた梅雨前線は、7月5日から6日にかけて日本海まで北上し、その後、前線上に発生した低気圧が次々と日本海を通過しました。この前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込み続けたため、西日本では断続的に大雨となりました。

この大雨により、7月5日00時から14日24時までの降水量が7月の月降水量の平年値を超える地点があり、平年値の2倍に達している地点や総降水量が1000ミリを超えた地点もありました。

広島県東広島市で土砂崩れにより2人が亡くなり、また江の川下流にあたる島根県江津市では氾濫が発生しました。各地で土砂災害や住家の床上浸水、床下浸水及び道路の冠水などの被害が発生しました。【被害状況：内閣府とりまとめ（16日08時現在）】

なお、詳細は以下のURLからご覧になれます。

https://www.jma-net.go.jp/osaka/kikou/saigai/pdf/sokuhou/20200717_kanku.pdf

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです（17日12時現在）。
そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：気象防災部 防災調査課 担当 山本
電話 06-6949-6308 FAX 06-6944-2121